



## 【先週のメッセージより】

## ～燃える柴／自信のない者こそ用いられる～

出エジプト3:9-10 見よ。今こそ、イスラエル人の叫びはわたしに届いた。

わたしはまた、エジプトが彼らをしいたげているそのしいたげを見た。

今、行け。わたしはあなたをパロのもとに遣わそう。わたしの民イスラエル人をエジプトから連れ出せ。」

- **神は人間の苦しみを見られ、叫びを聞かれる** 多くの人は「もし愛の神などが存在しているなら、なぜその神は人類の抱える多くの苦難、問題、悪を放っておかれるのか？」という疑問を持つ。それに対し、聖書が教えている大切な真理は「神は人間の苦しみを全て御存知であられ、苦悩の叫びを全て聞いておられる」ということだ。アダムが人類に罪を持ち込んだ日から今日に至るまで、神は苦しみ、絶望の中にいる人々の痛み、苦しみを全て知っており、それを感じ、それを「良くない」と思っておられる。燃える柴で神がモーセに対して、先ず最初に語られたことはこのことであった。
- **神は問題解決のために「人」を用いられる** 「もし神が全知なら、なぜ神は何もしないのか」というのが次の問いである。実は、神は人類史の中で積極的に問題解決に当たって来られた。ただ超自然的な技は最後の切り札として取っておかれるので何もしていないかのように見えるだけである。神の問題解決方法は「人」である。人間社会の苦しみと悪の責任は人間自身にあるので神はそれを正すのも人間の責任とされる。神は何よりも人間の心の成長を願っておられ、心を訓練なさりたいのである。散らかった子供部屋を親が片づけてしまっは子供は永久に整理整頓能力が身に付かないのと同じ理屈である。ゆえに神は人を選び、人を遣わされる。神はモーセに「今、行け！」と命じられた。神はあなたの心にも成すべきことを示し、重荷を与えておられないだろうか。
- **神は使命に遣わす人には必ず「共にいること」を約束される** 神は多くの場合「私にはとても無理です！」というような仕事を与えられる。なぜなら神は「共にいてくださること」を約束される方だからなのだ。そもそも、神が御自分の御計画のために人を召すのだから、当然、神が必要な資源も供給なさるし、指揮官として共にいて下さるのである。私たちの身勝手な行動はかえって混乱と危険をもたらすので、神はへりくだった従順な人を必要とされる。とてつもない大仕事をする事前準備としてモーセは完全にへりくだらされ、全く自信を失っている状態とされたが実はそれで良かったのだ。■

## 【今週の暗唱聖句】 出エジプト6：2「わたしは主である。」

<新改訳聖書「あとがき」より>

旧約聖書においては、特に、文語訳ではエホバと訳され、学者の間ではヤハウェとされている主の御名を、この訳では太字で<主>と訳し、それによって主の御名が記されている箇所を明らかにした。太字でない<主>は<主>を代名詞などで受けた場合または通常の<主>を意味する言葉の訳である。



●主：三章で神はモーセに御自身の名前を明かされているが、その名は「わたしはある」というものであった。今日の暗唱聖句は本来的には「わたしはヤーウエーである。」と訳して当然の所であるが、この「ヤーウエー」（神聖四文字YHWH）はもともと「ある」という意味の動詞ハーヤーまたはハーワーから出たものであるとされている。古代、神はヤーウエーとしてイスラエル人たちに知られ、親しくそう呼びかけられていたと考えられているが、時代が下り、人々は主の御名を冒瀆することを恐れて口に出さなくなり、その神聖四文字が出てくると主（アドナーイ）と言い換えるようになった。新改訳でも、新共同訳でも「ヤーウエー」を「主」と訳す理由はこのユダヤ人達の習慣による。新約聖書の時代、ギリシャ語訳の旧約聖書を使い、ギリシャ語を使用したユダヤ人達の間ではもはやヤーウエーは使われておらず「主」と言われるようになっていたこともその理由である。しかし最近でははっきりと神をヤーウエーとお呼びし契約上の忠実さ、不変性を意味するこの名を意識しようとする動きもあるようだ。

---

## 【今週の英語】 “Adrianisms” by Adrian Rogers

**One of the uniqueness of men and women: A woman is infinitely superior to a man at being a woman, and a man is infinitely superior to a woman at being a man.**

男女のユニークさ：女は女であることにに関して男に比べ無限倍優れており、男は男であることにに関して女に比べ無限倍優れている。

**If you can be a Christian at home, you can be a Christian anywhere.** 自宅でクリスチャンとして生きることができるなら、どこでも可能である。



---

## 【デボーション・礼拝・聖霊と共に歩む】

昨年間の目標はデボーションの確立でしたが、続けていますか？聖日礼拝、遅れないようにと励まし合ってきましたが、心新たに決心して行きましょう。毎朝「聖霊さま、共に歩んでください。満たしてください。」とへりくだりを持って一日を始めましょう！